

株式会社ジェイコム東京 西東京局

2021 年度 放送番組審議会 議事録

2021 年度 株式会社ジェイコム東京 西東京局 放送番組審議会は、2022 年 3 月 29 日、成美教育文化会館（東久留米市東本町）で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席

高木 亮教 様	飯島 享 様	植田 貴俊 様
加藤 綾 様	遠藤さおり 様	高橋 靖 様
関口 将史 様	小原 啓嗣 様	猪熊 勇一 様
田中 和彰 様	岩井 計佳 様	伊藤 理香 様
有賀 達郎 様		
出口 拓隆 様	（栗山丈弘様代理）	
熊谷 奈々 様	（北見慶宏様代理）	
高橋 尚幸 様	（堀田憲生様代理）	

ご欠席

渡辺 茂治 様	斉藤真由美 様	鈴木 信克 様
---------	---------	---------

◆事業者側から局の現況報告、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】

◆2021 年度の放送番組について

委員

東京 2020 パラリンピック車いすバドミントン銅メダルの山崎悠麻さんと地域イベントで関わった。山崎さんが小平市に縁があることを知らない人が結構いると思う。地域のイベントもどこで何をやっているかを知らない人もいたので、J:COM で地域のことを掘り下げて放送して欲しい。

事業者

オリンピック・パラリンピック関係の取材はいろいろ気を付けないといけない。先方の

了解が得られなかったりするが、視聴者も知りたい情報でもあるので、違った形で紹介できるように考えないといけない。

委員

たまろくと人図鑑に 200 数人出演いただいた。有名な方ももちろんいるが、あまり知られていない方で面白い方がたくさんいる。後継番組（居酒屋秀ちゃん）はエリアが広いので、北多摩エリアに絞った方の番組を検討いただきたい。

事業者

新たな番組の立ち上げは簡単ではないが、日々放送しているニュース番組でも発掘して放送している。ZOOM でのインタビューも頻繁に実施しているので、情報提供いただけたらありがたい。

委員

地元の特化した番組だと感じている。どんどん番組を増やしていただけたらと思う。

委員

市の情報を発信するという意味では J:COM と同じメディアと思っているが、市報での情報発信がメインであり、紙面も限られていることから、活躍されている方のご紹介等は後回しになってしまう場合がある。出来れば市報を補完する形で紹介できれば、その方々の理解にもつながるし、街と J:COM との連携にも繋がると思うので、既存の番組の良いタイミングでご紹介いただければありがたい。

事業者

広報の紙面では扱いづらい内容も是非ニュースで取り上げたいと考える。我々も情報収集の方法を模索しており、皆さまのお声一つ一つを大事に拾っていかないといけないと感じている。

会長

新たな番組の構築は難しいと思うが、皆さまのご意見を溜めておいて番組を考えるのも手かと思う。一番近い位置にいる番組審議委員も発信していけたらと考える。

委員

3 月 16 日から 4 月 3 日まで小平駅の桜をライトアップしているが、ライブ配信で映像を流していただければ、見た人が小平に行ってみようかということになるかと思う。5 月のバラの時期に、市内の個人宅を公開するオープンガーデンを行っているが、心を込

めて手入れをしているので、花の成長過程を含めて紹介して欲しい。またドローンを飛ばして鳥瞰的に街の様子が伝わるような小平市の空から撮った映像が欲しい。

事業者

桜など、きれいなものを中継で見せるというのは良いと考える。コロナ禍前はニュース番組でも中継を実施していたが、ここ2年ぐらいは機会が減ってきている。世間の状況を見ながら、中継を復活させていきたい。オープンガーデンも、たくさんのお宅を気軽に見られるという非常に良い取り組みで、中継向きの内容だと考える。以前は「空から紀行」という空撮の番組があったが、コンテンツが増えてきて、そういった番組がなくなってきている。ドローンの撮影は規制が厳しいため、検討して参りたい。

◆新番組「JJ キッチン」について

2021年4月1日よりJAと共同で放送を始める都市農業応援番組「JJ キッチン」。一部映像を放映、及び内容について説明があった。

委員

新たな食材の発見があってすごく良いと思う。化粧品を販売している会社で、CMを流していただいているが、番組内で商品の紹介やプレゼント等のコーナーがあると良い。

事業者

社内で検討したい。

委員

大変面白い企画だと思う。今年度はコロナ禍というのもあって子どもたちと一緒に試食する取り組みが少なかったなので、来年度取り組んで欲しい。

事業者

コロナ禍ということもあって番組内で料理を作って試食を避けていたが、若い世代の視聴者層の獲得というのはコミュニティチャンネルの課題でもあるので力を入れてやっていきたい。

委員

近くの生産者や知っている方がいると嬉しい。紹介した野菜を子ども食堂に提供するような取り組みも良いのではないかと考える。

事業者

提案を受けた取り組みも番組内で取り入れられるか検討して参りたい。

委員

多摩地区は畑の多いことがエリアの特徴だが、このエリアに引っ越してきた方が生産者と気楽に話をするのは難しいと思う。この番組を通じて生産者の様子が分かるのは非常に地域に密着した良い番組だと思う。このエリアに引っ越しされてきた方が、近所の方とお付き合いがない中で、地元料理の自慢や市長さん、地元で知られた方が出演されて、街の雰囲気伝わるという意味ではとても素晴らしい番組。たまろくと人図鑑のように地元の人を紹介する番組が終了し、JJ キッチンが唯一地元の方が直接参加される番組になっていると思うが、過去の番組に出演された方を中心としたコミュニティを作って連携が生まれるような形になれば、より一層地元が盛り上がっていくのかと思う。

私自身もたまろくと人図鑑に出演したが、YouTube にもなっており、色々なエリアの方がご覧になっていて、別のメディアからの取材依頼に繋がった。地元の知る人ぞ知るとい方を紹介すると大手メディアも J:COM の番組をチェックしているので全国区に広がっていくというきっかけにもなるかと思うので、コミュニティづくりも含めお願いしたい。

事業者

地域の方とパイプを作るという目標もあつたたまろくと人図鑑という番組が始まった。ご出演いただいた 223 人の方の人脈は今後の番組にも生かしコミュニティは大事にしていきたい。

委員

たまろくと人図鑑で 100 人を突破した時にルネ小平でリアルに集まって講義、懇親会で名刺交換や話をする機会があった。200 回でもやろうという話をしていた。コロナ禍で仕方がないが、リアルな出会いの場を作っていただきたい。

委員

子どもを対象とした食育や、フードロスへの取り組みなど、SDGs の観点からの情報発信を番組で実施出来ると地域貢献になると感じた。街の話題を拾うのは J:COM の力だけでは拾いきれないと思う。番組審議委員が中心になって、早く提供していきたいと考える。

委員

ラジオとテレビの作り方の違いはあるが、ラジオはインタビューが主体となるところ、

スタジオに農産物を持って来て料理して見せるというテレビ的な仕事で面白いのではないか。我々も地元の人からの情報提供は重要と考えている。色々なコンテンツが可能だと思うのでこの地区の産業の主体である農業を軸にして、色々な取り組みができれば良いと思う。

委員

映像と音声の強みを補い合うのか高め合うのか、連携していただけたらと思う。

委員

自分の家族が実際にどんな番組を見ているのか考えていたが、「Youは何しに日本へ?」「家、ついて行ってイイですか?」「ポツンと一軒家」「ぶらり途中下車の旅」等をよく見ている。視聴者のニーズを拾って、J:COMでも新たな番組に取り組んで欲しい。

委員

JJ キッチンに西東京市長も出演させていただき、地元の野菜を題材に番組にさせていただき楽しい番組だと思う。コロナ禍で制限されている中で地元の農家の方が一生懸命育てた大事な野菜を、放送を通じてお届けできるのは良い番組だと考える。

委員

4、5 年前に比べれば充実してきたようには感じるが、良いコンテンツを作っても機器が対応できていないのではないか。ハード面での整備にも力を入れて欲しい。

委員

エリアの加入率はどうなっているか。

事業者

5 市エリアで TV 有料サービス加入世帯が約 3 割。無料で見られる世帯もあり、約 7 割のお客さまが 11ch を見られる。

以上